

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：子育て支援 英語表記：Child Care Support ナンバリング：2318		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：浅野瞳 担当形態：単独
科目/系列	/保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/子育て支援		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 保育者の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。 2. 保育者の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。 3. 保育者の行う保育の専門性を理解し、多角的な視点を持った保育について理解する。			
【授業の概要】 保育者の行う保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援の特性と展開を具体的に学び、様々な場面に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例を通して具体的に理解する。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】 第1回：保育所・幼稚園・こども園における子育て支援とは 第2回：子育て支援の意義 第3回：子育て支援の基本 第4回：子育て支援の技術 第5回：保育士の日常と子育て支援 第6回：園内での職員連携 第7回：子どもの育ちを保護者に伝える方法とその効果 第8回：保護者参加の方法とその効果 第9回：地域の社会資源の活用と連携 第10回：子ども虐待への対応と家庭への支援 第11回：障害のある子どもとその過程への支援 第12回：貧困家庭への支援 第13回：外国につながる子どもをもつ家庭への支援 第14回：地域の子育て家庭に向けた支援 第15回：子育て支援の今後に向けて 定期試験：筆記		【授業時間外の学習】 ・授業前に提示する資料を読み、自分の考え・疑問点について整理しておくこと。 ・授業後は、参考文献等により関心のあるテーマについての理解をさらに深め、学習した内容についてまとめておくこと。 ・日頃から子育て支援に関するニュースをチェックしておくこと。 ・予習・復習には1～2時間程度の時間が必要である。	

<p>【授業の方法】 講義及び演習（グループワーク）を取り入れた授業を行う。 Google Classroomを使用し、課題等の提出物に対し随時フィードバックを行う。</p>	
<p>【テキスト】 『子育て支援』 二宮祐子著 萌文書林</p>	
<p>【参考書・参考資料等】 『保育所保育指針解説＜最新版＞』 厚生労働省、フレーベル館</p>	
<p>【学生に対する評価】（課題等の評価にルーブリックを活用する） 小テスト(20%)、課題提出(30%)、筆記試験(50%)を総合的に評価。</p>	
<p>【履修上の注意】 ・受講にあたっては、テキスト、配布資料を参考に事前事後の学習を行い、積極的な姿勢で臨むこと。 ・グループワーク等の演習を通し、学んだ知識を、自らの言葉で伝える力を身につけること。</p>	
<p>実務経験の有無：有</p>	<p>実務経験：元施設勤務（社会福祉士）</p>
<p>【実務経験を生かした教育内容】 施設での相談業務経験を活かし、児童福祉施設の現状や職員としての心構えなどを習得できるよう視聴覚教材なども活用して授業を行う。</p>	